池戸孝治さん

浜松の池戸溶接製作所　『キットバイク』を開発
価格は２０万円台　５月からネットで販売

プラント設計、製造の池戸溶接製作所（浜松市新津町、池戸義雄社長）は、部品組み立て式で実際に走行もできる二輪車「キットバイク」を開発した。限定五十台を五月にインターネットで販売する。

「作る楽しみと乗る楽しみを併せ持った二輪車が、オートバイの街『浜松』にあってもいい」というコンセプトで開発。全長一・四メートル、幅六十五センチ、高さ九十センチ、重さ約三十キロ。フレームや車輪、オイルタンク、ヘッドライトなど約二十の市販部品を組み立てて完成させる。環境にやさしい四サイクルの農業用汎用エンジン（排気量三一ｃｃ）を搭載し、約二十キロの速度で走行できる。取扱説明書を見れば、特別な知識がなくても二時間ほどで組み立てられる。

浜松で二輪車の生産が始まった一九五〇年代のレトロ調のデザイン。原動機付き自転車と同じ扱いで、運転免許があり、市町村でナンバー登録などを行えば公道も走行できる。価格は二十万円台になる見込み。

キットバイクを発案し、開発を進めた池戸孝治専務（写真）は「取扱説明書を充実させ、安全性には十分配慮している。米国では二輪車を組み立てて乗ることは珍しくない。作る楽しみを持った二輪車を浜松から世に出すことに意義がある」と話している。

同社はこれまでに、モーター駆動で二輪車をゆっくり後退させる後付け商品や、動力を人力、モーター、エンジンから選べる「トリプル駆動原動機付き自転車」を開発しており、今後も「“ あっ

たら便利”な独創的な二輪車開発に取り組みたい」としている。

中日新聞　2004-02-28

http://www.chunichi-tokai.co.jp/keizai/news/keizai20040228.shtml